

平成 22 年度

# 校内研究研修計画

仙台市立将監東中学校

研究主題

平成 22 年度 研究主題

自ら考え、意欲的に取り組む生徒の育成を目指して

～ 基礎・基本の定着と活用を目指した授業実践の工夫を通して ～

## 1 主題設定の理由

「豊かに表現できる生徒の育成」を研究主題として設定したものの、基礎基本が十分に身につけていない中で表現力や応用力を育てるのは難しいという反省から、サブテーマを「基礎基本の定着」と修正した。

基礎基本を重視した取り組みの成果もあり、標準学力検査の結果、本校生徒の基礎的な力は、数値上平均点を上回り、一見すると基礎基本の定着が図られたように見える。しかし、職員評価を見ると、基礎学力が十分に備わったとは感じられないという声が多かった。

今年度の生徒の実態を見ると上位生徒、下位生徒に偏りが見られ二極化傾向となっている。また、授業についてこられず、家庭学習の習慣がなされていない生徒も多く、学習障害傾向の生徒への指導の必要性や、学習意欲をいかにつけさせるかが本校の課題ではないかと考えられる。

このことから、より一層きめ細やかな指導の下、基礎・基本を習熟させる中で、自ら学び自ら考える力を身につけさせ、意欲的に学習に取り組む生徒の育成を目指したいと考え、本主題を設定した。

## 2 研究のねらい

基礎的・基本的事項を身につけさせることで、学習意欲を向上させたい。  
各教科、3年計画で基礎基本の定着と、その活用を目指していきたい。

## 3 研究の視点

- ・基礎的・基本的事項を身につけさせるため、個々に応じた適切な支援と評価のあり方
- ・朝学習の推進
- ・下位生徒のボトムアップを図るため、学習材における、最低限身につけさせる事項等の指導

## 4 研究計画

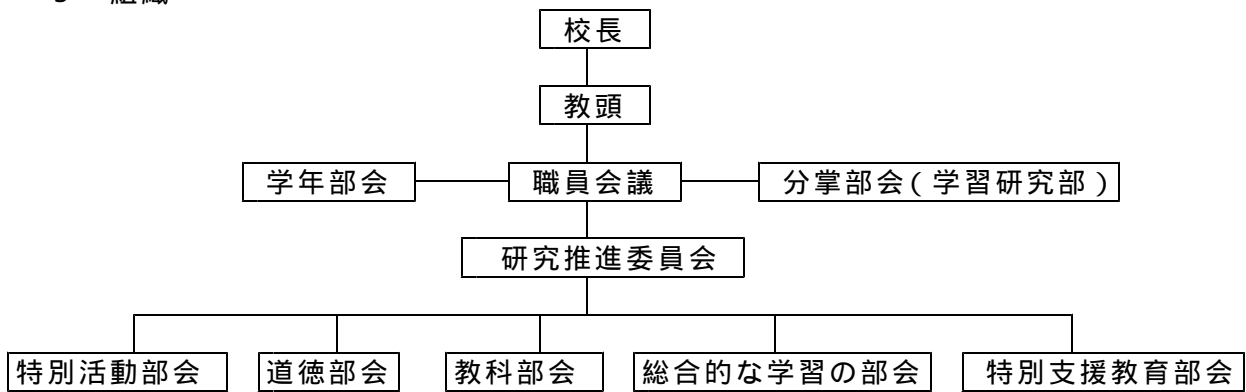
研究の進め方

- ・3年計画で今回の研究主題の目標を達成させるため、各教科において「教科研究テーマ」を設定する。

全体における研究・実践

- ・校内授業研 1回（2教科程度を実施予定）22年度は要請訪問
- ・全員授業 全教員による授業実践。
- ・校内研修会の計画・実施（エクセル研修会、評価等）
- ・研究成果の検証 各教科での研究・実践のまとめ、事後調査等

## 5 組織



## 6 年間計画

月	研究計画	内容
4	研究計画の立案 各教科の実践計画立案	・研究主題,ねらい,計画の提案・確認 ・各教科の研究テーマの検討・確認
5	各教科の実践計画立案	・各教科の具体的な実践計画作成・確認
6	各教科の実践 校内研修会	・授業実践( ) ・評価,通信票について
7	各教科の実践 校内授業研究会	・授業実践( ) ・実施教科( )( )
8	各教科の実践 校内研修会	・授業実践( ) ・教育課程研究協議会伝講 ・評価,通信票の処理について
9	各教科の実践	・授業実践( )
10	指導案検討会 各教科の実践	・授業実践( )
11	各教科の実践 校内授業研究会 (18日) (学習指導訪問)	・授業実践( ) ・実施教科( )( )
12	各教科の実践	・授業実践( )
1	研究のまとめ	・実践のまとめ(各教科の成果と課題)
2	研究のまとめ 校内研修会	・実践のまとめ(校内研究の成果と課題) ・来年度の研究の取り組みについて
3	研究集録の発行	

## 7 平成22年度 重点施策

- (1)基礎基本の定着対策の推進
- (2)通信票等，エクセルを全職員が扱えるようにする。（評価について）
- (3)全職員による授業実践の実施
- (4)教師一人一人が目標を設定して教育活動に取り組む

### (1)基礎基本の定着対策の推進

「平成21年度 仙台市標準学力検査等の結果」の分析等を踏まえて，朝学習を活用した「学力補充」を効果的に実施していく。

### (2)通信票の評価方法やエクセルを用いた成績処理等の充実を図る

研究部のみでなく，本校のすべての教員が，エクセルの使用方法の理解を深める。

#### 「通信表・評価」

通信表作成が，指導要録，調査書などつながりを持ち，職員共有フォルダを通したオンラインを生かして，事務の簡略化や統一した様式で進めていく。  
また，各教科の評価基準についても検討していく。

#### 「東中自分づくり」

東中の生徒が，自分づくり教育にスムーズに取り組めるように，カリキュラム作成などを行う。

【自分づくり教育とは，人とのかかわりを大切にしながら，児童生徒一人ひとりの望ましい勤労観・職業観，自立する力をはぐくみ，自分をより豊かに成長させるとともに，確かな学力向上を図るための教育】

### (3)全職員による授業実践の実施

平成21年度に引き続き本年度も全職員による授業実践を実施する。互いの取り組み（指導法など）について情報交換を行い，分かる授業・楽しい授業を目指していく。

### (4)教師一人一人が目標を設定して教育活動に取り組む

各学校で学校長が教職員一人一人にその年度の個人目標や努力目標へのヒアリングが実施され，それが勤務評定の一部に参考にされるようになる。

そこで，教師個人として，校務分掌等との関連での個人目標の他に教科研究主題を受けて，個人としてどのような指導を行っていくかを考えていく。

## 8 平成22年度の校内授業研究会について

平成22年度は「学習指導訪問」を実施する。

教科は，理科・技術を予定。また，「授業検討会基本モデル」に基づいた授業検討会を行う。